
第4回大田原市財政健全化検証委員会 会議録

日 時 令和5年5月26日（金） 開会 午後1時30分
閉会 午後3時45分

場 所 大田原市役所本庁舎 602.603 会議室

出席委員 中村祐司 氏（委員長）、佐藤行正 氏、田島二三夫 氏、村田 稔 氏

事務局 益子経営管理部長、鈴木総務課長、篠崎財政課長、菅谷財政係長、
総務課高橋主査、西海主査

協議事項

- (1) 検証対象事業の見直しの方向性について
- (2) 施設の指定管理料（次回の検証対象）の検証方法について
- (3) 中間報告書について

そ の 他 第5回委員会 令和5年8月2日（水） 午前10時から

発言要旨 別紙のとおり

発言要旨

1 開 会

2 委員長挨拶

3 協議事項

(1) 検証対象事業の見直しの方向性について

- ① 大田原市社会福祉協議会補助金
- ② 那須野が原文化振興財団補助金
- ③ 大田原市シルバー人材センター補助金
- ④ 大田原市観光協会補助金
- ⑤ 大田原商工会議所補助金
- ⑥ NPO法人大田原市体育協会運営費補助金
- ⑦ 農業公社運営費補助金
- ⑧ 大田原地域職業訓練センター管理公社運営費・人件費補助金
- ⑨ 大田原市土地改良区運営費補助金

(事務局説明要旨)

これまでに行った事業費補助金の検証と同じように、団体運営費等補助金9件につきまして、「継続」、「減額又は改善」、「廃止」のいずれかの方向性を示していただきたいと思います。

※事前質問及び回答は別紙のとおり

(事業検証)

No.1 大田原市社会福祉協議会補助金

(結論)

方向性：継続すべき

意見等

- ・総支出に占める人件費の割合が高いこともあり、社会福祉協議会の経営の効率化を注視することが必要である。
- ・人件費・事務費の割合が支出の約8割を占め、事業費や助成金の支出が2割に満たないというのは十分な活動が行われていないように思う。今後は独居老人の生活支援、子どもの貧困支援など、社会福祉協議会が中心となって行うべき事業は多いと思うので、予算の一部を主事業に回す努力が必要である。
- ・効率的な福祉支援が実現されるのであれば、補助額の額を増やしても良いのではないかと。

No.2 那須野が原文化振興財団補助金

方向性：継続すべき

意見等

- ・指定管理者として那須野が原ハーモニーホールの効率的運営を行い、指定管理料と補助金の合計額の極小化を目指すべき。
- ・同補助金については、今後も毎年度の決算において残金が生じた場合は、補助金を返還させることを条件に継続すべき。
- ・県北の文化・芸術の中心的な役割を果たせるよう、指定管理者には運営の工夫の努力を求めていることが必要

No.3 大田原市シルバー人材センター補助金

(結論)

方向性：継続すべき

意見等

- ・会員のこれまでの経験を生かせるような仕事の検討は必要

No.4 大田原市観光協会補助金

(結論)

方向性：継続すべき

意見等

- ・独自の財源確保にこれまで以上に踏み込んだ形で知恵を絞り、成果向上を迫るべき。
- ・観光協会が主体となって企画、運営する事業をより増やすとともに収益を増やす努力が必要
- ・観光協会の財政的な自立を促すため、事業収入の増加に繋がる事業の強化等何らかの工夫が必要

No.5 大田原商工会議所補助金

(結論)

方向性：継続すべき

意見等

- ・行政の立場から、商工会議所及び商工会の統合に関して助言や促しなどの働きかけが必要
- ・補助金を出すからには、市との連携を強化して積極的に産業振興につながる事業を行うよう求めているべき。

No.6 NPO法人大田原市体育協会運営費補助金

(結論)

方向性：減額又は改善すべき

意見等：

- ・スポーツ協会の専門部活動の課題を把握した上で、行政は専門部支援に焦点を絞り、スポーツ協会が地域スポーツを主導する方向に誘導すべき。
- ・体育協会は特定非営利活動法人であり、また、その設立経緯からも補助金による支援はやむを得ない。
- ・アフターコロナに向け、顧客ニーズにマッチした事業内容に見直しするなどして、事業収入の増加を図り補助金の減額に努めてほしい。
- ・部活動の地域移行に関し、現状において体育協会の役割が不透明であるが、場合によっては体育協会への支援を強化せざるをえない可能性もある。

No.7 農業公社運営費補助金

(結論)

方向性：継続すべき

意見等

- ・同補助金については、今後も毎年度の決算において残金が生じた場合は、補助金を返還させることを条件に継続すべき。

No.8 大田原地域職業訓練センター管理公社運営費・人件費補助金

方向性：現在の指定管理の期間が終了する令和6年度をもって廃止すべき

意見等

- ・市の計画では、令和6年度に施設廃止となっているので、それまでは継続
- ・指定管理料と補助金の合計額の極小化が必要

No.9 大田原市土地改良区運営費補助金

方向性 減額又は改善すべき

意見等

- ・繰越金が多いため、繰越金を使い切るまで補助金を停止してもいいのではないか。
- ・補助金の趣旨は理解できるが、収入の7.4%を占めるほどの補助金を交付する必要性はないのではないか。
- ・基金を取り崩して運営している団体（今回の検証対象団体）もある中で、そういう団体に対し補助金を増額するため、土地改良区の収支内容等を精査し、メリハリのある補助金の支出を検討してはどうか。
- ・多額の繰越金が発生した理由の検証が必要

・組織活動強化に向けた改善（増額も検討）が必要

(2) 施設の指定管理料（次回の検証対象）の検証方法について

施設の指定管理料については、資料（事業検証シート、令和4年度事業報告書、令和5年度事業計画書、令和5年度収支予算書、指定管理者評価チェックシート）を基にそれぞれ専門の立場から意見を出し、委員会の中で意見をまとめることに決定した。

(3) 中間報告書について

令和4年度に検証委員会で検証した「令和3年度の決算額が500万円以上の事業費補助金」13事業について、今後の方向性、事業に対する意見等をまとめた「中間報告書（案）」が、委員会で承認された。

4 その他

第5回委員会は、令和5年8月2日（水） 午前10時から開催する。
内容は、施設の指定管理料6件の検証を行う。

5 閉会

(事前質問及び回答)

No.1 大田原市社会福祉協議会補助金	
質問	回答
民間の事業者が参入しにくい過疎地域で介護保険サービスや障害者サービスを提供とあるが、社会福祉協議会による民間事業者への支援や民間事業者との共同の取組によって、過疎地域における民間事業者の参入を促す方策は考えられないのか。	大田原市社会福祉協議会も他の民間事業所と同じ社会福祉法人であるため、他の事業所の支援や共同は難しいと考えます。過疎地域への他の事業所の参入はゼロではなく、採算の合う報酬単価の高い利用者への参入はありますが、採算の合わない介護予防対象の利用者や報酬単価の低い利用者には参入しないため、社会福祉協議会が受けざるを得ない状況にあります。
社会福祉協議会決算書について、事業活動支出計 255,842 千円とサービス活動費用計 205,775 千円の差額は何ですか。	資金収支計算書は支払資金の収支を明らかにするものに対し、事業活動計算書は、1年間の事業活動の成果を明らかにするものです。差額の要因は、人件費の退職給付費用であり、退職までの積み立てした年数分ではなくあくまでも1年分の費用で計上しているため差額が生じます。
上記に関連し、その他の活動による収入 60,349 千円は何ですか。	定年退職者3名分の退職手当積立基金取崩し収入です。
No.2 那須野が原文化振興財団補助金	
質問	回答
指定管理者を「非公募」としている理由は何か。	市指定管理者制度運用指針で非公募とすることができるものとして「施設の設置目的、性格、規模等により公募に適さないと認められるとき。」とあり、那須野が原ハーモニーホールについては、那須塩原市との共同設置という建設及び管理運営の経緯を考慮して、非公募としました。
収支決算書の補助金、指定管理料等は大田原市と那須塩原市の合計でしょうか。	令和3年度収支決算報告のうち、補助金収入の決算額 64,524,144 円は大田原市と那須塩原市の合計額です。大田原市が財団に全額補助金を支出した後、覚書に基づき、その4割に当たる額を那須塩原市から大田原市に支払われます。

No.3 大田原市シルバー人材センター補助金	
質問	回答
<p>新規事業開発には具体的にはどのような事業が考えられるのか。</p> <p>また、会員数の減少に歯止めをかけ、さらには増加に転じるための方策として、どのようなものが考えられるのか。</p>	<p>市が実施する高齢者軽度生活援助事業において、介護保険の訪問介護に含まれない軽易な日常生活の支援に関する事業を受注しており、このような福祉家事援助サービスに関する事業を推進することが考えられます。</p> <p>会員を確保するため、シルバー人材センター事業の広報宣伝活動の強化に努めるとともに、臨時的かつ短期的な就業や軽易な業務に係る就業の機会増加に努め、登録会員の希望職種とのミスマッチ解消を図ります。</p>
No.4 大田原市観光協会補助金	
質問	回答
<p>自主事業やクラウドファンディングなど、観光協会自らの発案で、活動のための収入源の一部を確保する方策はないのか。また、法人化する上での課題を挙げるとすればそれは何か。</p>	<p>大田原市観光協会は、これまでも各種イベント等の自主事業の実施や出店、販売、協賛金の募集などにより、独自の財源確保を図ってきました。</p> <p>今後も、様々な方法を研究・検討し、実施していくことが重要と思われます。</p> <p>法人化する上では、一般的に組織体制の再編成や財務管理の強化、人材の育成、地域連携の強化などが課題であると認識しています。</p>
No.5 大田原商工会議所補助金	
質問	回答
<p>大田原商工会議所、黒羽商工会、湯津上商工会の統合が進まない理由は何か。</p>	<p>商工会議所、各商工会とも統合への機運が高まっていないことが理由であると推察しますが、統合は、各団体の意思によるため、市は統合に関して関与していません。商工会議所と商工会は設置根拠法（商工会議所法、商工会法）が異なるため、両者の統合に関する規定はありません。</p>
<p>黒羽商工会及び湯津上商工会には補助金は出ていないのですか。</p>	<p>それぞれ交付しています。</p> <p>令和4年度交付実績は下記のとおりです。</p> <p>黒羽商工会 4,170千円</p> <p>湯津上商工会 3,380千円</p>

No.6 NPO法人大田原市体育協会運営費補助金	
質問	回答
部活動の地域移行の中心的役割とは具体的にどのような役割なのか。	<p>中学校の部活動が地域クラブ活動に移行する際に、子どもたちを指導する監督、コーチやクラブを運営する管理者が、地域にいるかどうかという問題があり、多くの地域で、その部活動に関して高度なスキルを持った人材を確保することに苦慮することが予想されます。</p> <p>そこで、スポーツ協会の各専門部から指導的立場に成り得る人材の供給や人材に関する情報提供を期待しています。</p>
No.7 農業公社運営費補助金	
質問	回答
農地バンク事業は、財務諸表のどの科目に該当するのか。またこの事業名の記載が見当たらないのはなぜか。	<p>農地バンク事業は、栃木県農業振興公社が行う農地中間管理事業の別称であり、大田原市農業公社は、その業務を受託し、相談窓口として貸借の手続等を行っています。</p> <p>従いまして、実施主体が県公社であることから、財務諸表上では、事務手数料として県公社からの受託収入（中間管理事業業務受託収入及び中間管理特例事業等受託収入）のみの計上となっています。</p>
No.8 大田原地域職業訓練センター管理公社運営費・人件費補助金	
質問	回答
センター施設の維持管理に指定管理者制度を導入した経緯と、導入後の変化や課題を教えてください（導入前と導入後の違いなど）。	<p>同施設は、独立行政法人雇用・能力開発機構が所有し、職業訓練法人大田原地域職業訓練センター管理公社（昭和56年設立、従前は財団法人）が職業訓練事業を実施していましたが、平成23年に機構から同施設が市に無償譲渡されました。譲渡に際し、急遽譲渡されることが決定したため、指定管理者制度を導入するものの非公募により1年間のみ管理公社を指定することとしました。1年が経過し、管理公社による運営に支障等はなかったため、非公募で継続して管理公社を指定しています。</p>

	<p>指定管理者制度を導入した目的は、一層のサービス向上と経費の削減及び業務の効率化を図ることでありまして、導入前後で講座等が同一ではないため一概に比較はできませんが、指定管理者導入前（H22）の経費は約 2,539 万円、導入後（H23）の経費は約 2,245 万円、令和3年度には 1,621 万円まで減少しています。</p> <p>課題は、事業検証シートにも記載しましたとおり、施設の老朽化及び事業ニーズの低下が挙げられます。</p>
--	--

No.9 大田原市土地改良区運営費補助金

質問	回答
<p>補助目的にある「農業構造の改善等に資する」に注目した場合、この点について市土地改良区はこれまでどのような具体的成果をあげてきたのか。</p>	<p>戦後、農業構造改革の一つである基盤整備を実施するために土地改良区が設立され、整備された農村部の田畑のほか水路や農道等の農業用施設を協同化し、維持管理の合理化を図ってきました。</p> <p>しかし、米をはじめ農産物の価格低迷と施設維持管理費の増大による所得減少が続き、また、高齢化による担い手減少により、効率的・安定的な農業の継続が危惧されています。当運営費補助金による具体的成果については、上記課題に対し、土地改良区の運営の円滑化を図り、農業者に対する総括的な負担軽減策による継続的な営農の確保、良好な施設維持管理の継続による施設の長寿命化、担い手育成を目的とした圃場整備事業など、土地改良区が中心的な組織として各施策を実施してきました。</p> <p>また、現在推進している圃場整備事業実施地区につきましても土地改良区に編入する必要性があることから、今後も組織強化を図ってまいります。</p>